

9~12月事業告知

Schedule

9/20土・21日
県庁線及び城址(県庁)

ふくい秋の収穫祭「育都の陣」
～ふくいをつなげる未来絵巻～



今年で12回目を迎える「ふくい秋の収穫祭」は福井城址及び県庁線にて開催致します。恒例の飲食ブースに加え、親子で体験できるアートワークイベント、福井の歴史を学ぶ歴史ツアー、福井JCと一緒に今後のふくいを考える「育都納涼懇話会」と、楽しさの中でふくいの魅力を発信し、より良いふくいの未来に繋げます。ご家族、ご友人等多くの方のご来場お待ちしております！

[日時] 9月20日(土) 11:00~22:00、9月21日(日) 10:00~17:00

[場所] 県庁線及び城址(県庁)

詳しくは福井JCのホームページ、公式フェイスブックにてご案内中

11月

日下部・グリフィス顕彰事業

対象:福井市内の小学6年生
誇り高き未来に向けてプロジェクトの推進



福井市内の小学6年生を対象に今年も映画「ヒーローになれなかったヒーロー」作文コンクールを開催いたします。江戸時代末に福井からアメリカに渡った日下部太郎の自己を犠牲にしてまでも郷土のために学問を修めようとした公助の精神や、その留学先の教師であり友人でもあったW.E.グリフィスとの友情、尊い絆などを学ぶことで、未来に向けて今の自分にできることを考えるきっかけにしていただきたいと考えております。

JCI Junior Chamber International Fukui
公益社団法人 福井青年会議所

〒918-8004 福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル内
TEL.0776-33-1750 FAX.0776-33-1752

●E-mail admin@fukuijc.or.jp ●URL http://www.fukuijc.or.jp

発行
編集委員長
副委員長
委員

(公社)福井青年会議所
LOMマーケティング委員会
小林 信道
鈴木 範治・平馬 幸太郎
大谷 実成・北 弘幸・北濱 雅也
南部 正綱・見谷 賴貞

福井JCホームページ
QRコード

9/18 木 19:00~
AOSSA8F 福井県県民ホール

9月例会
「夢があるから強くなる。」

公開例会
是非ご参加ください

(公財)日本サッカー協会最高顧問である川淵三郎氏をお招きし、「夢があるから強くなる。」というタイトルでご講演いただきます。無理だと言われていたプロサッカーリーグ「Jリーグ」の立ち上げやワールドカップの誘致などさまざまな偉業をなしたとされた川淵様の強いエネルギー。困難に当たっても夢をあきらめなかつた川淵様の強い心。ぜひみなさまに聴いていただきたいのでぜひ、足を運んでくださいませ。

[日時] 9月18日(木) 19:00~
[場所] AOSSA 8階
福井県県民ホール
お申し込みは
福井JCのホームページから

11/21 金 19:00~
福井商工会議所 地下コンベンションホール

11月例会
「育都ふくいへの架け橋～考えよう、福井のまちづくり～」

公開例会
是非ご参加ください

平成26年11月21日(金)に、東京大学社会科学研究所宇野重規教授と永平寺町長河合永充氏をお招きして、公開例会を実施します。当日は、希望学調査を通じて福井との関係が深い宇野教授と子育て環境の充実を訴え、町政に奮闘されている河合町長を交え、当青年会議所の調査研究の成果を発表すると共に、まちづくりについて政策提言を行う予定です。ご参加を心よりお待ちしております。



[日時] 11月21日(金) 19:00~21:30 (受付開始 18:30)
[場所] 福井商工会議所 地下コンベンションホール

詳しくは福井JCのホームページ、公式フェイスブックにてご案内致します



福井JC紹介

私たち福井青年会議所(福井JC)は、「より明るく、より豊かなふくい」を目指して運動を展開しております。ただ、その運動はまちづくり・ひとづくり・国際交流など非常に多岐にわたりますので、なかなか皆さんにきちんと具体的な活動をご案内することができません。そこで、私たち福井JCが機関誌として長年発行してきました『啓發』を、昨年より広報誌として発行させていただくこととしました。広報誌『啓發』を通して、一人でも多くの皆さんに、より深く私たちの組織や活動をご理解いただけましたら幸いです。



2014年度 理事長

今村 善信

ふくい人の育成 とは

私たちは、「ふくい人」の育成に挑戦していきます。この「ふくい人」とは、ふくいの伝統的な精神に根ざし、グローバルに通用する、定見と行動のスキルを持つ人のことです。この「ふくい人」の育成において重視することは、次の3つです。

- ① 伝統的なふくいの精神 ② グローバルに通用する力 ③ 確かな定見と行動力

ふくい人の育成・育都ふくいの開発の詳しい内容は、

公益社団法人 福井青年会議所ホームページ

「福井青年会議所紹介」内のアクションプラン2012にてご覧いただけます。



2014わんぱく相撲福井大会・全国大会

勝っておごらず負けて腐らずの精神を学ぶ機会を創出すべく「わんぱく相撲福井大会」を開催致しました。また福井大会で優勝した4・5・6年生の子供たちと8月3日に両国国技館(東京)で開催された全国大会に参加してきました。両大会共に熱い取組みが繰り広げられ、勝ち負けの結果以上に、相撲の中から相手を思う心や友情を学んでいただきました。

福井大会においては、個人戦108名・団体戦低学年10校、高学年8校のご参加をいただきました。

まち 地域の担い手づくりプログラム事業

このプログラムは小学校6年生、中学校1・2年生を中心に職業観や労働觀を学んでもらうことを目的に開催をしています。例年は当青年会議所のメンバーがゲストティーチャーとして学校を訪問しておりましたが、今年は可能な限り、地元企業や商店主様、または学校に関係されている方々に参加をお願いし、地域全体で子供たちを育成していく環境整備に力を入れております。

9月現在、稟中学校35名・藤島中学校120名・大東中学校120名・永平寺中学校60名を対象に行いました。



ちからプログラムの実施

次代を担うリーダーを育てるプログラムとして、「ちからプログラム」を福井市内の小中学校にて実施しています。「ちからプログラム」には、年齢に応じて、伝える力、ほめる力、決める力の3つのプログラムがあり、それぞれ気持ちを正確に表現する力、相手のことを考え表現する力、チームの中で考え決定していく力を育むためのプログラムとなっています。

9月現在、西藤島小学校・豊小学校にて開催しました。



いくと 育都ふくいの開発 とは

「育都ふくい」とは、子育て世代が住みたくなり、暮らし続けたくなる先進地方都市のことです。この「育都ふくい」の開発において重視することは、次の3つです。

- ① 育児・教育環境の整理・整備 ② 産業構造の理解と労働環境の整理・整備
③ 文化環境の整理・整備

<http://www.fukuijc.or.jp>

福井青年会議所

福井JC

検索



ふくい秋の収穫祭「育都の陣」～ふくいをつなげる未来絵巻～

北陸新幹線の延伸、福井国体の開催、城址公園への整備とふくいは大きく変わり、進展し、人が集うまちになっています。この変わりゆく福井の街を、市民や地域の方々が一体となり、ふくいの歴史、文化などの魅力、積み重ねられた歴史、文化などにその価値を感じていただき、特に子供、若者、子育て世代とこれからのふくいを背負う方々に、「育都ふくい」を通してそれを継承し、ふくいの在り方を示し、このまちで住むことのすばらしさ、暮らすことの楽しさを実感していただき、福井JCの歴史とも言える「ふくい秋の収穫祭」で福井の食文化を発信し、多くの人が集う中で、未来に向けて育都ふくいを発信します。

詳しくは8ページをご覧ください。

県都ふくいのまちづくり懇話会～Fターンミーティング～

本年度は、東京及び京都の地において、福井県出身者の合計約50名の方を対象として実施したほか、藤島高校と福井商業高校の県内2つの高校で合計6回の授業時間を使い、約230名の生徒を対象とした懇話会を実施しました。ふくいに縁のある様々な世代の考え方を聞けたことは貴重な機会となりましたし、参加された方にとっても働くことやふくいについて考える良い機会になりました。



京都会場



東京会場



藤島高校



福井商業高校

事業報告



1月例会 「新年賀詞交換会」

行政機関や報道機関、経済諸団体、有識者その他関係諸団体の皆様にご出席頂き「新年賀詞交換会」を開催致しました。ご出席いただいた皆様には、2014年度の福井JCの不撓の念いや意気込み、本年度行っていく事業に対する熱意をお伝えし、歓談の時間では足りない程、積極的な名刺交換や情報交換をさせて頂き、より一層修交を深めることができました。

2月例会「ファシリテーション実践塾」



多くの人が集まることでより良い事業構築ができる反面、意見の対立が起こる可能性も出てきます。多様な意見を引き出しグループの可能性を最大限に生かすためには、そこに参加する人達の考え方、関係性を円滑にし合意形成をしていく必要があると考え、2月例会では「ファシリテーション実践塾」を開催しました。今後のJC活動は勿論、様々な活動に必ず役に立つ学び多き例会となりました。

3月例会「学ぼう県都デザイン戦略！輝かそう育都ふくい！」



福井県と福井市が策定した「県都デザイン戦略」の経緯と内容を理解し、行政のまちづくりへの考え方を取り込みながら、福井JCとしてより良い豊かなふくいと育都ふくいの開発を目指すために、福井工業大学 下川准教授と、福井県交通まちづくり課 白崎参事にご出演いただき県都デザイン戦略を学び、今後のふくいについてパネルディスカッションを行いました。

4月例会「会員拡大はLOMの生命線だ！」



日本JCシニア・クラブの矢口健一先輩をお招きし、会員拡大に関する講演会を行いました。拡大の手法というよりも「なぜJCが必要か。どうして拡大をするのか。」という根本を学びました。2014年の拡大目標40名以上の達成にむけて、拡大担当の委員会だけでなく、LOM全体の拡大に対する意識向上を後押ししていただきました。目標必達!!

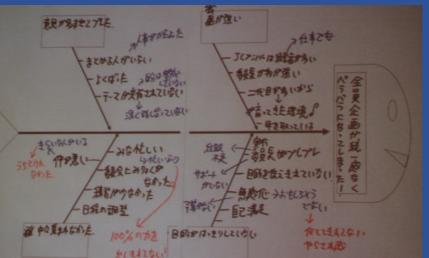
6月例会「LOM athletic」



福井市南体育館にて6月例会「LOM athletic」を実施しました。2018年の福井国体に向け、福井県が1県民1スポーツ運動を掲げ、運動のニーズが高まる中、まず私たちがスポーツの素晴らしいしさを改めて

体感しながら、メンバー同士のつながりをしっかりと持てるような交流の機会を設けました。メンバー間の連帯感を高め、LOM内の絆が深まる例会になりました。

5月例会「行程管理で事業を成功に導こう!!」



本例会は、JCの上程スケジュールや行程管理についてあらためて学び直すことで、メンバー全員が理解を深め、それぞれの委員会や立場で何をするべきかを共有することによって福井JC全体として運動の展開を効果的にしたり、各事業運営をより深化する一助としていただけました。

7月例会「新たな広報戦略の発見！」



7月例会では地域の市民の皆様や行政、地域外の方々に対し訴求すべき情報を伝える為にはどうすべきかを、LOMマーケティング委員会で行ったアンケート調査を元に、福井JCの問題点、課題などをメンバーに考察していただき、さらなる福井JCの広報最適化への前進を図りました。今後も福井JCメンバー全員での広報活動を目指します。

福井JC 水原JC姉妹締結50周年記念式典・記念事業

7月31日から3日間、水原JCとの姉妹締結50周年記念式典・記念事業を実施しました。



記念式典・祝賀会集合写真

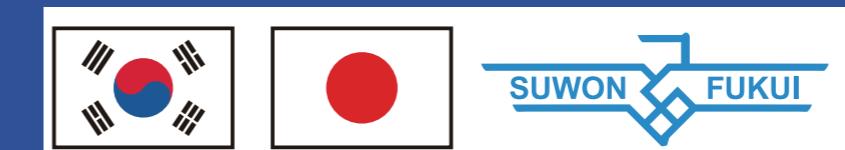


福井JC創立50周年記念モニュメント前の写真

本年、私たち福井JCと韓国水原JCは姉妹JCとして50周年という大きな節目を迎えました。日韓国交正常化がなされる前に国内で初めて韓国の水原JCと姉妹締結して以来、民間外交の先駆けとして様々な交流をしてきました。この交流がきっかけで平成13年に福井市と水原市が友好都市として姉妹締結されました。

水原からはシニアの先輩方も含め総勢29名の方が来られました。1日目の記念式典祝賀会では、これまでの50年を振り返り、そしてこれから50年に向けて共同宣言文に調印しました。2日目には、福井市長、福井工商会議所へ表敬訪問を行い、その後、両JCメンバー同士で日本JCの相互理解プログラム(お互いの文化・歴史・習慣に対しての違いを認識し、お互いを尊重することにより相互理解を深め、永続的な相互発展の機会をつくるプログラム)を実施いたしました。また、その夜には、福井フェニックス祭りの開催期間ということもあり、福井フェニックス花火を観賞し、3日目には水原の皆様を無事空港まで送り、お互いに笑顔溢れる充実した3日間を過ごすことができました。

今後も私たちは、このつながりを大事にし、お互いの地域の振興・活性化・相互交流、さらには希望に満ちた明るい豊かな社会の実現に向け邁進してまいります。



共同宣言文調印式



記念事業 相互理解プログラム



福井市長表敬訪問

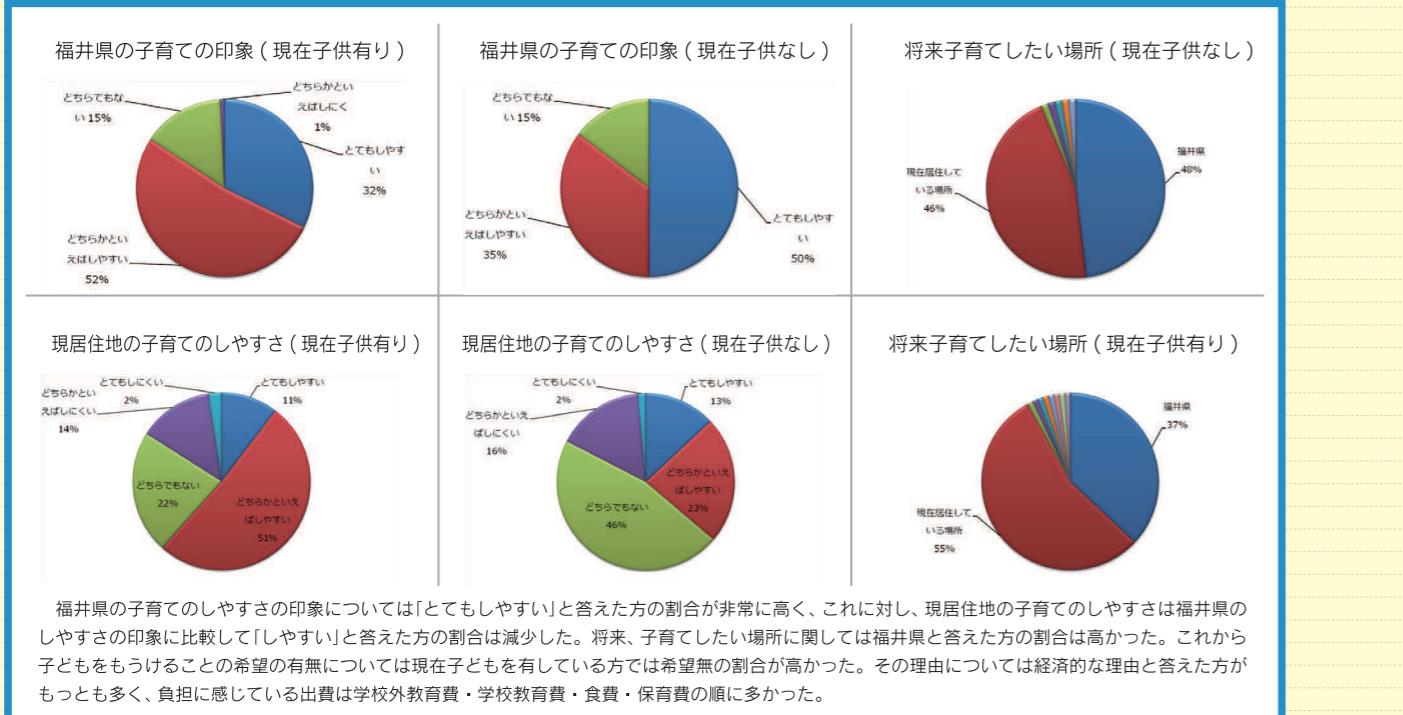
育都ふくいの開発に関する調査研究報告

公益社団法人福井青年会議所は、子育て世代にとって子育てしやすい、住みたい、暮らし続けたいと思う魅力あるまちを【育都ふくい】と定義し、育都としてのまちづくりを目指しています。

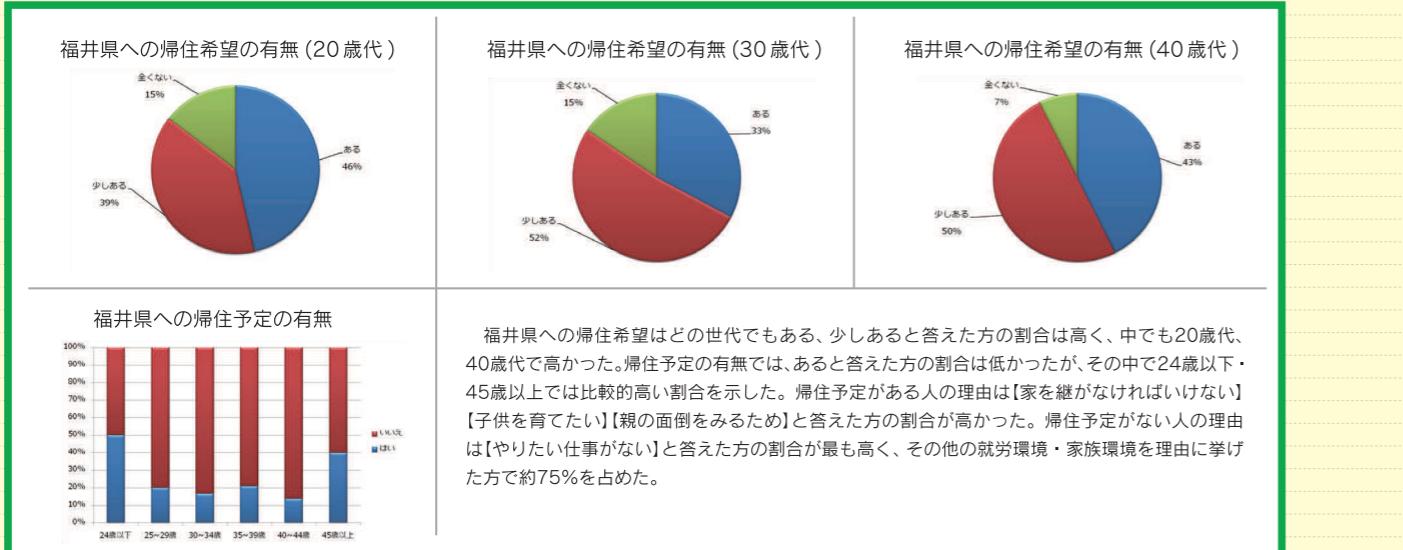
この育都ふくいの開発において、まずは子育て世代を取り巻く様々な環境について居住地による地域差やふくいの現状・問題点、さらにはこれらの課題をしつかり把握するために詳細な研究を行う必要があると考え、県外在住の福井県出身者を対象に福井と現在の居住地における様々な環境の違いについてアンケートにより調査を行いました。

■対象	福井県外在住の20歳～40歳代の福井県出身者
■実施期間	平成25年4月1日～10月31日
■回答方法	アンケート用紙 福井青年会議所ホームページ スマートフォンアンケートサイト
■回答数	312人

子育て環境について



居住地の選択・福井への帰住について



このアンケート結果を踏まえ、これから県外に出ても、ふくいへ戻るという選択肢があることを印象づけ、ふくいの良き発信者となる素地をつくることを目的として、本年度は福井市内の高校生も対象にFTアーンミーティングを開催しました。

また、9月20・21日に開催の、ふくい秋の収穫祭2014は「育都の陣」という内容で特に子供、若者、子育て世代とこれからのふくいを背負う方々に、ふくいの在り方を示し、このまちで住むことのすばらしさ、暮らすことの楽しさを実感していただけるよう取り組んでいます。

2015年度理事長内定者 増田喜一郎

情熱を胸に 更なる飛躍を

公益社団法人福井青年会議所は、2013年より新しいビジョンであるAction Plan from 2012に基づき、ふくいの伝統的な精神に根ざし、グローバルに通用する、定見と行動のスキルを持つ「ふくい人(びと)」の育成、並びに子育て世代が住みたくなり、暮らし続けたくなる先進地方都市「育都ふくい」の開発に向けて、様々な運動を展開して参りました。そして、2015年度はこれまでホップ・ステップと発展した運動をジャンプ、即ち大きく飛躍させていく年度であると感じております。これまで受け継がれてきた志と、溢れる情熱を胸に、ふくいをより明るくより豊かにして参りましょう。



2014年度下期 新入会員紹介



石田 高志 S57.10.1

Green Banana

JCでの活動を通じて、自分自身、そして、福井の街を変えていけるような活動をしていきたいと思います。よろしくお願いします。

伊藤 邦治 S53.1.12

(株)グランボウ

知識、能力、価値観の異なるメンバーとのJC活動を通じ、事業の企画、構築、実施等を学び、成長したいです。

大澤 義人 S53.12.25

大澤義人税理士事務所

私は、公益社団法人の組織運営を学びたいと思っています。同時に、楽しい仲間と共に成長していきたいと思います。

奥村 修己 S56.5.11

sol paint

福井の為に何が出来るのか考え、JCの仲間と共に協力して福井の街全体を活性化したいと思います。

衣川 昌希 S57.6.28

(有)衣川塗工

福井JCの活動を通して、自分自身を磨き、地域の活性化に貢献していくよう努力していきたいと思います。

小林 輝之 S50.5.6

(株)長田工業所

会合等に積極的に参加していくことで結果的に自分を高め、福井を盛り上げるような人間力をつけていきます。



小林 良誠 S50.9.24

ノースランド(株)

JCでの入会をきっかけに見聞が広がっております。これからJC活動を通じて、地域社会の発展に貢献できる人財になれるよう、自己研鑽に努めてまいります。



白崎 匠平 S62.1.31

白崎印刷(株)

JCへの入会をきっかけに見聞が広がっております。これからJC活動を通じて、地元福井に対する見聞を広め、そして地域発展に貢献していくよう頑張っていきます。



林 克哉 H3.8.7

(株)ビリオンフーズヤシ

知識と経験を得るために、熱意と信頼を持って活動に取り組み、自己研鑽に励むだけでなく、同志の成長や福井の発展に貢献します。



松浦 真樹 S55.2.19

(株)活衛工務店

福井JCの活動を通して地元福井に対する見聞を広め、そして地域発展に貢献していくよう頑張っています。



松山 亮一 S50.9.19

三優社工業(株)

JCの活動に積極的に参加して、仲間と友情を深め、地元の発展、自分の成長を真剣に考える場にします。



横山 光 S58.10.8

益茂証券(株)

自分が進んで学習し行動することで、「明るい豊かな社会」の実現の一助となりたいと考えております。よろしくお願いいたします。



2015年度 会員募集

ー私たちとふくいの未来を築きませんか？ー

新入会員受付基準

- 原則、福井市内及びその近郊に居住または就業している方。
- 満20歳以上で満40歳未満の情熱のある男女。
- 正会員2名以上の推薦を受け、年2回(5月・11月)の入会審議において承認された方。

次代のふくいを担う情熱のある方をご紹介ください！

JAYCEE探求委員会 委員長 上口 浩史

JCの4つの機会

個人の機会

メンバーと共に色々な事業を構築・実施していく中で、個人としてのスキルアップもでき、友情を育むこともできます。

地域の機会

事業を通して地元「ふくい」と大きな関わりを持つおり、郷土の発展に貢献できるよう活動しています。

ビジネスの機会

JCのメンバーは様々な業種の青年経済人ばかり。JCでの出会いを通して、新しいビジネスがいくつも生まれています。